

# 大和合金 人材グローバル化を推進 外国籍社員を積極採用



銅合金の鋳造・鍛造 品メーカーの大和合金

(本社・東  
京都板橋  
区、社長・  
萩野源次郎  
氏)は外国  
人社員の採  
用を積極化  
している。

既に中国籍  
の社員が海  
外営業など  
を担当して  
いるほか、  
今月から米国籍の女性  
社員を採用。さらに現  
在、外国人インターン  
を受け入れて製造や営  
業などの職場で研修を  
行っている。同社では  
航空機関連の素材など  
を欧米やアジアの市場  
に拡販。萩野社長は  
「海外で販路を拡大す  
るため、人材のグロー  
バル化を進めていきたく  
い」と話している。

同社の海外売上は年  
々拡大しており、今後  
も航空機のランディン  
グギア用の素材などに  
注力して伸ばしていき  
たい考え。行間のニュ  
アンスをより正確に読  
み取れるネイティブ社  
員はその戦力になる。  
今月入社したローレン  
・バークハートさんは  
来日6年目。カリフォ  
ルニア州の出身で、岡  
山県の中学校で英語を  
教えていた。今年2月

に自治体国際化協会の  
インターンシップで大  
和合金を訪れ、入社を  
決めた。バークハート  
さんは「たぐさんの種  
類の合金があり、高い  
品質でユーザーを満足  
させていることに感銘  
を受けた。顧客を幸せ  
にする仕事をしてきた  
い」と話している。

また今月5日からブ  
ラジル、アメリカ、イ  
ギリスの国籍をもつイ  
ンター3人を受け入  
れ。溶解鋳造や熱処理  
などの製造部門に加え  
て、開発や営業などの  
現場で同社の仕事に触  
れている。写真。萩野  
社長は「国籍も含めた  
多様性が強い組織を作

る」と話す。インター  
ンの受け入れは日本の  
モノづくりを広く紹介

する国際貢献の意味合  
いもあり、今後も続け  
ていきたい考えだ。